



## ■全体観を極めるセミナー :14 時間(7 時間×2 日)

個人の役割や組織の使命を果たすためにも、全体観をもって問題解決にあたるのが極めて重要な時代になっています。

解決すべき問題を細分化せずに、チームのみんなで多方面から観察し、全体像を捉えて対応するための考え方と方法を学びます。

### 【セミナー内容の例】

1日目	イメージ
講義 ■全体観が求められる時代背景 ■全体観の意味と必要性、等 ワーク■日常業務の事例を通して、部分観と全体観の違いを学ぶ。	
講義 ■全体観を阻害する要因 ■阻害要因を除くためのポイント、等 ワーク■事例問題を通して自分の阻害要因に気づき、改善点を発見する。	

2日目	イメージ
講義 ■全体観を養うツール ■マインドマップ、フェルミ推定、等 ワーク■マッピング手法などのツールを使って、事例問題について全体観を養う。	
講義 ■全体観の元は観察力 ■関連性、階層化、時間軸、等 ワーク■あるプロジェクトに発生した問題に対して全体観を持って対応策を検討する。	